

平成 25 年 2 月 4 日
電源開発株式会社

竹原火力発電所 2 号機の運転再開について

当社 竹原火力発電所 2 号機（所在地：広島県竹原市、定格出力：35 万 kW）は、昨年 12 月 18 日に主タービン主油ポンプ※¹ 軸の破損により発電を停止しておりました。（平成 24 年 12 月 19 日お知らせ済）

その後、タービンの分解点検および各種機器の検査を行った結果、主タービン主油ポンプ軸の破損の他に主油ポンプインペラ※² に擦り傷を確認したため（平成 25 年 1 月 18 日お知らせ済）、破損部品を交換し、設備の健全性が確認できたことから、本日午前 0 時に運転を再開いたしました。

今般の主タービン主油ポンプ軸の破損の原因について調査した結果、主タービン主油ポンプ軸受部の動作不良により、ポンプ軸に過度の応力が掛かり、破損に至ったものと推定しております。

今後は主油ポンプの点検強化を図り、再発防止に向けた取り組みを進めてまいります。

※1：主油ポンプ：タービン運転中に必要な制御油および軸受油などを供給するポンプ

※2：インペラ：ポンプ内部の回転する羽根車

【添付資料】 竹原火力発電所 2 号機 タービン概略図

以 上